

ゴミの大漁？だった

小野川の清掃

小野川と佐原の町並みを考える会を中心に、樋橋上流の与倉屋前から開運橋までの川底のゴミの引き上げと兩岸の草刈りを行った。

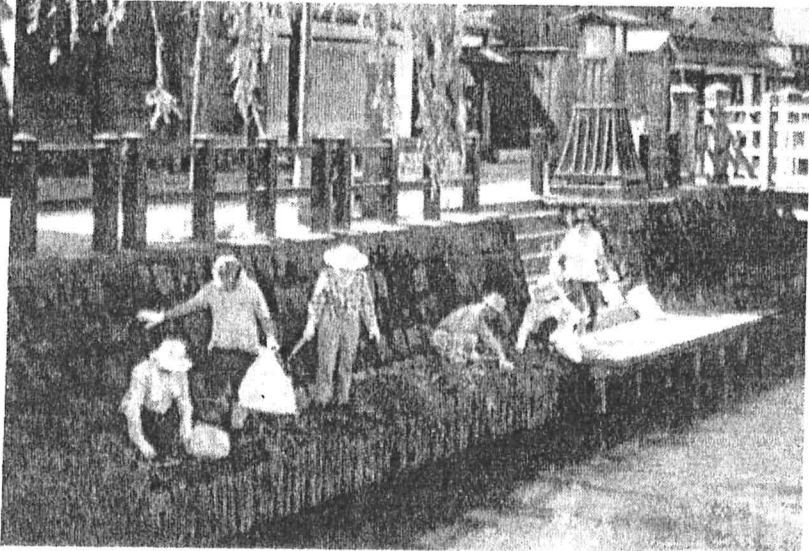
川水の量を考慮して、七月二十八日の午後と翌二十九日午前にかけて、小野川清掃を実施した。

佐原市の建設業界をはじめ、佐原青年会議所及び市のまちづくり推進室、香取土木事務所の応援により、開運橋までの広範囲にわたり、底浚いを行った。

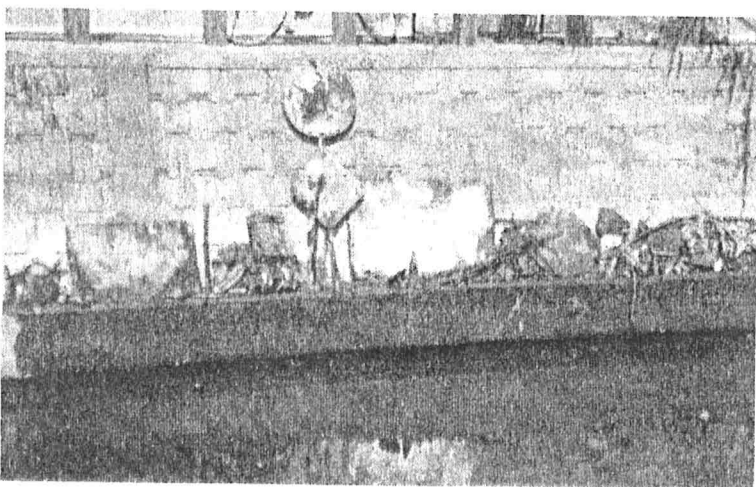
胸まであるゴム長靴での作業で引き上げたものは、自転車四台・道路標識・タイヤ・スケートボードなど。川底からのゴミは意外なものも多く驚かされた。



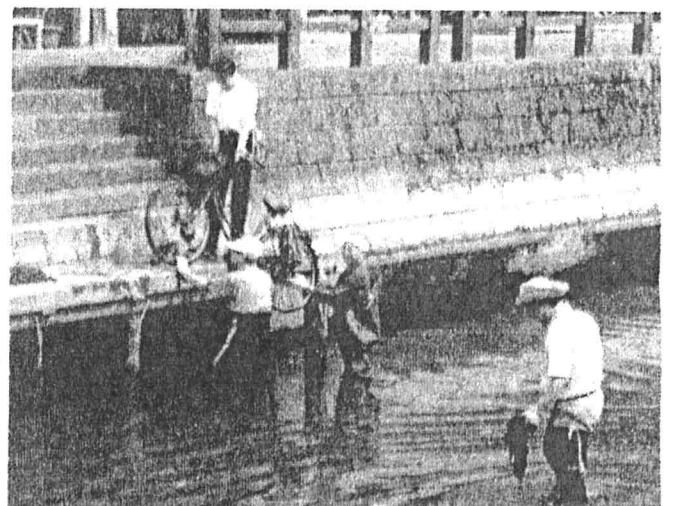
▲次々と大漁の網袋(ゴミ)が川から重機で引き上げられる



▶兩岸の草刈り



▲出るわ出るわ川底から意外なゴミが



▲ドロドロと泥を含んで引き上げられる自転車

ビン・缶・杭などのゴミを網に入れ、重機で吊り上げ、何台ものトラックに積む様子は、さながら大漁を思わせた。実際に、ヘドロの臭いの強い、生活用品等のゴミが山のように大量であった。

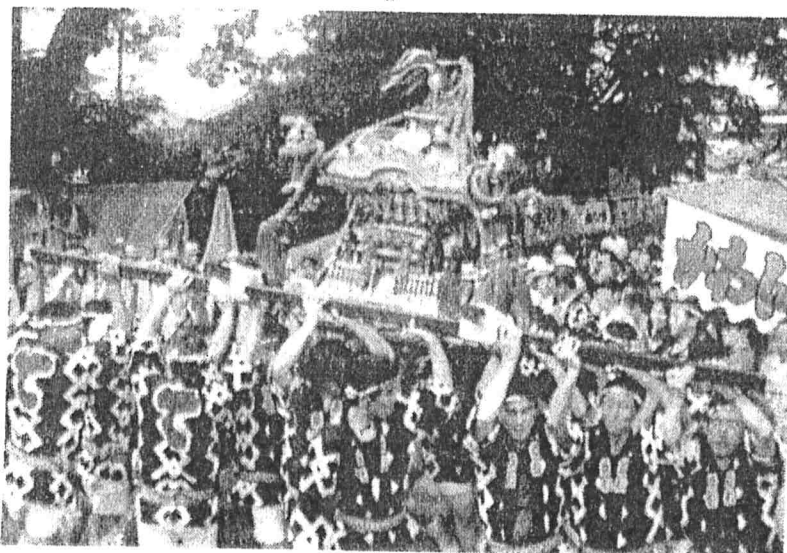
町の中心を流れる情緒豊かな小野川をきれいな川にするため、物を投げ捨てないよう、市民一人一人に協力を呼びかけたい。

夏祭り

「ごぼれ話」

「今年には雨の中での夏祭りになりましたが、佐原っ子の熱気で大いに盛り上がった三日間。」

「参加した人達の声からー」  
◎「長年、神輿巡業のお供をしています。長年、神輿巡業のお供をして返したほどの雨が降ったのは、今年が初めてですね。大変でした。」  
◎「三菱館や町並み案内所、各商店の前での雨宿りの観光客への親切な対応に感謝の声がたくさん寄せられた。」  
◎「中日には、商工会議所青年部の関東ブロック大会が開催され、重伝建と祭り見学」の分科会参加者の方々から、九台勢揃いした山車の勇壮さに感動の声しきりでした。



▲祭り最高潮！出立する神輿

神社と奉号されました。

明治の中頃に社殿の建替が行われた。その時、西向きだった社殿を南向きにする事になり、大騒動になったとか。そこで両方に鳥居が建てられたという事です。

今でも、「神輿」は隔年交互にそれぞれ鳥居から、写真のように威勢よく、町内の巡行に出立します。神様もホッと安心。

八坂の鳥居



◎祭り見物に来て、偶然写真コンクールを知って応募したら、ご夫婦で入賞したとのこと。抱えきれない程の賞品にすっかり感激。今年も二人揃って、いい写真をと張り切っていた観光客がいました。このような行事が他所から来た人に知れわたり、喜ばれることは、うれしいかぎりです。

八坂神社の境内に所狭しと並んだ出店やおぼけ屋敷には、子供の頃からの思い出がいっぱい。本宿の鎮守様の八坂神社は、祭神が素盞鳴命で大変歴史のある神社です。古くは牛頭天王、あるいは感応天王社と呼ばれていたが、明治の神仏分離で八坂